



## 駿河台大学「駿輝祭」に参加

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 林 弘之1等空佐）入間地域事務所は、令和7年10月26日（日）、駿河台大学の学園祭「駿輝祭」に参加し、第32普通科連隊の支援を受けて自衛隊車両の展示を行うとともに、募集ブースを設置した。

自衛隊車両の展示では、ヘルメットや防弾チョッキの試着、車両をバックにした記念撮影の実施等、大好評であった。

募集ブースでは「南極の氷」を展示して実際に触れてもらい、4万年前の地球を感じてもらうとともに、南極観測支援行動における自衛隊の役割を知ってもらうことができた。

参加者からは、「防弾チョッキは重かったがさらに鉄板を入れると聞いてびっくりした。」「自衛隊が南極に行っているのは知らなかった。」等の声が聞かれた。埼玉地本は、今後も学校行事等に積極的に参加し、学生や若者に興味を持ってもらうとともに、地域の若者が将来の選択肢を広げられるよう発信していく。



## 草加市商工会議所まつりで自衛隊の活動をPR

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 1等空佐林 弘之）朝霞地域事務所は、11月3日（月）草加市まつらばら綾瀬公園で実施された「草加市商工会議所まつり」に参加し、広報活動を行った。本イベントではYOSAKOI演舞や地域団体によるステージイベントを始め、市内企業が自慢の製品をお得に販売する「モノづくりダイレクトセール」、草加グルメ店、キッチンカーなど屋台やブースが数多く出展され、多くの来場者で賑わった。

今回は、大宮駐屯地から第32普通科連隊第3中隊（中隊長 友成1尉）の支援を受け、高機動車、偵察用オートバイ、野外炊具1号を展示したほか、自衛隊説明コーナー、自衛隊スタンプラリーなどを行った。来場者からは「自衛隊の車両はカッコいい。」「将来自衛官になる。」「といった沢山の声をいただき、多くの来場者に自衛隊をPRすることができた。今後も県内のイベントに参加して、自衛隊を身近に感じてもらえる広報活動を実施していく。

